

第 40 回 日 本 社 会 学 会 大 会

標記の大会は、昭和42年10月8・9両日にわたり、名古屋大学において開催され、本研究所からは上田正夫（人口移動部長）、皆川勇一（人口移動部分布科長）、駒井洋（人口資質部資質科）の3技官が出席した。

一般研究報告は基礎理論(1)(2)、家族、地域、産業労働、社会心理・社会意識、集団・組織・リーダーシップ、社会福祉、社会学史、農村、都市、労働・社会運動、社会病理、人口、マス・コミ、教育・社会心理の15部会に分かれ54題の報告があった。またほかに、今年度はとくにテーマ部会が第1日の午後に開かれ、第1部会「現代の社会変動をどうとらえるか」、第2部会「社会変動と現代家族」、第3部会「戦後日本資本主義の地域問題」、第4部会「経営合理化と労働者」、第5部会「社会心理への接近法」、第6部会「組織の比較分析」の六つの部会が持たれ、それぞれ4～5題の報告が司会者の企画編成の下に行なわれ、活発な討論を呼んだことが注目される。本年度のシンポジウムは「大学問題」の検討——現代社会における人間形成の問題として——をめぐり三つの報告が行なわれ、3人の討論者による討論が行なわれた。

一般報告のうち、人口に直接関係のあるものは次の三つであった。

死亡性比の変動について……………山本文夫
世界人口の趨勢と日本の前途……………西野入徳
社会変動論における人口の問題……………富田富士雄

(皆川勇一記)

日 本 統 計 学 会 第 35 回 総 会

標記の総会は、昭和42年10月23・24日の両日、神戸大学経済学部において開催された。本年度の共通テーマの一つは J. P. Süßmilch の歿後200年を記念した「J. P. Süßmilch (1706～67) の『神の秩序』(初版)に関する研究」であり、森田優三座長の下に次の報告があった。

松川七郎（はじめに）、青盛和雄（その人口増殖および出生性比論）、丸山博（その死亡表について）、飯淵康雄（その疾病分類について）、浦田昌計（その同時代者としての G. Achenwall, 1719～72）、松川七郎（要約）

また、これに関連して「統計学史上の Süßmilch」と題する有沢広巳氏の記念講演があった。

共通テーマとして、このほか「金融統計」、「ORにおける統計的諸問題」の2題があった。一般研究報告は合計30題に上ったが、そのうち人口に関連ある報告としては次の3題があった。

農業人口に関する統計的研究……………池上一志
人口重心の評価と人口分散度の計測について……………鈴木啓祐
正規分布の変換と生物現象……………川上理一

(上田正夫記)

第 5 回 日 本 老 年 学 会 総 会 ・ 第 9 回 日 本 老 年 医 学 会 総 会 ・ 第 9 回 日 本 老 年 社 会 科 学 会 総 会

標記3学会総会が昭和42年10月30日から11月1日の3日間にわたり、名古屋市内に在る中日ビル、愛知県医師会館および日本生命ビル内の5会場で開催された。

老年学会総会では、3学会の会長演説、特別講演2題（老化について、老年学の源流）、外人招待講演（Dr. N. W. Shock : Current Trends in Biological Research on Aging）およびシンポジウム（老年者とりハビリテーション）が行なわれ、老年医学会総会では、特別講演（老化学説の史的考察）およびシン